平成２５年度

「障がいのある方たちの自立生活セミナー」
秋講座（障がい児・者の親・支援者向け）

～障がい者の自立した生活・自己決定を身につけることを目指して～

	日　程	内　容	講　師
1	11/5(火)	自分でやりたい！を応援 ～作業療法士の目から見た社会参加～	神奈川県立平塚盲学校 作業療法士 吉川　雅子　氏
2	11/12(火)	自分で決めたい！！ ～私が心理カウンセラーになるまで～	NPO法人　アーモンド　コミュニティネットワーク 笠羽　美穂氏（障がい当事者） 水谷　裕子氏（NPO法人理事長）
3	11/19(火)	母らしく、そして、私らしく ～障がい児子育てからの選択～	社会福祉士・精神保健福祉士 根岸　満恵　氏
4	11/26(火)	「私らしく」を手助け ～財産管理だけじゃない「成年後見人」～	NPO法人よこはま成年後見つばさ 理事長 須田　幸隆　氏

☆時　間　10：00～12：00

☆場　所　青葉区福祉保健活動拠点　ふれあい青葉　2階
青葉区市ヶ尾町 1169-22　電話　(972)8836　☆地図をご覧ください。
※　駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください

☆参加費　各回　３００円（一回のみの参加でも結構です）

☆定　員　各回　３０名　※　興味のある方はどなたでもご参加ください。

☆申込み　開催日の１週間前までに、官製はがき(以下の住所)
または　Eメール（ils-aoba@live.jp）で、件名「自立生活セミナー」
①　参加希望回　②　住所　③氏名　④電話番号
をご記入の上、お申込みください
※　保育希望の方は、開催日の２週間前までに、問い合わせ先までご相談ください。

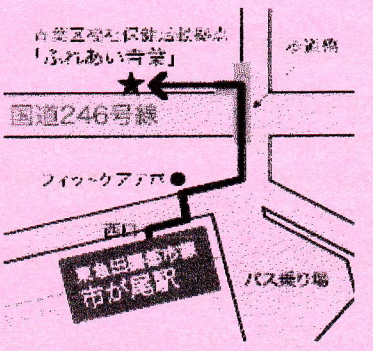
☆申込み先住所　〒225-0024　青葉区市ヶ尾町 1169-22　ふれあい青葉　M－１６

☆問合せ先　メールアドレス（ils-aoba@live.jp）へ

企画・運営　青葉区当事者研修実行委員会

青葉区当事者研修実行委員会って？

私たち青葉区当事者研修実行委員会は、平成１１年より障がいがある人たちの社会参加のために、自ら選択し、行動範囲を広げていくための当事者セミナー(冬に開催)、障がい児・者の保護者や支援者向けのセミナー(秋に開催)を企画しています。障がい当事者、障がい児・者の親、障がい児・者を支援しているメンバーによって活動する市民団体です。



ふれあい青葉

この事業は「あおば　ふれあい助成金」を財源として実施しています。

講師紹介

スタッフのおすすめ

第１回講師　吉川（よしかわ）　雅子（まさこ）氏

作業療法士免許取得後、横浜市北部地域療育センターに勤務。 青年海外協力隊員として、コスタリカ共和国の脳性まひ総合療育センター兼特別支援学校を拠点に活動。
帰国後、川崎市教育委員会に所属し、特別支援学級・特別支援学校への巡回作業療法士業務に携わる。 平成２０年度から、神奈川県立茅ケ崎養護学校に勤務し、校内支援・地域支援に取り組む。平成２５年度から、神奈川県立平塚盲学校に勤務。

日々の生活での関わり方に大きなヒント

☆作業療法士って、何を教えてくれる人なの？
☆吉川さんの様々な経験・出会いからのメッセージ。

第２回講師　笠羽（かさば）　美穂（みほ）氏

心理カウンセラー　NPO 法人 アーモンド コミュニティ ネットワーク会員
体重９６０ｇの未熟児で生まれ、成長過程において手足の運動機能に麻痺が残り、以後 車椅子生活を送っている。社会人になり「障害」は個性であると感じる。個性を最大限活かせる仕事を考えて、イジメや不登校、登校拒否等、同じような経験で悩まれている方の力になりたい、という想いから心理カウンセラーになる。

第２回講師　水谷（みずたに）　裕子（ひろこ）氏

心理カウンセラー　NPO 法人 アーモンド コミュニティ ネットワーク理事長
2012 年 11 月に、市民が孤立することのない共生の社会と平和なコミュニティの実現に寄与するために、「相手の話しをより良く聴くこと」「傾聴活動」を土台とした支援事業を行なうNPO 法人 アーモンド コミュニティ ネットワークを設立した。傾聴勉強会の受講生であった笠羽美穂氏に呼びかけ、障がいのある人の育ちと生きかたに取り組む講座シリーズ『多様性、個性、障がいを支え育てるための～傾聴セミナー』を毎年開催。

https://www.facebook.com/NPOAlmondCommunityNetwork
http://almondcommunitynetwork.com/
https://www.facebook.com/mizutanihiroko

笠羽さんの言葉に耳を傾けてみよう！！親として、支援者として・・・

☆本当の自立とは何か？24 歳から自立生活を始める・・・きっかけは何？
☆笠羽さんにとっての障害受容
☆自己決定の大切さ、それはいつから？
☆子の思い、親の思いって？子育て中のお母さんにメッセージ

水谷さんの傾聴の心は、笠羽さんとコラボして、私たちにメッセージを送ってくれる。

第３回講師　根岸（ねぎし）　満恵（みつえ）氏

社会福祉士・精神保健福祉士
重度知的障害のある２５才の長男をできるだけ普通の暮らしができるように様々な体験を心がけてきた。小さい時は、家族でいろいろなところに遊びに行き、小学校高学年からは家族以外の人との活動を増やしてきた。その関わりから自分の意思を伝える力をつけていった。自分たちが動けるうちに何かしなければと、「三人会」を結成、「あんしんノート」を作成した。NPO 法人よこはま成年後見 つばさ　理事。

「私らしく」生きるとは？いっしょに考えてみましょう。

☆障がいのある子どもがいるからできたこと。
☆母として１人の女性として、選択をし続ける根岸さん。

第４回講師　須田（すだ）　幸隆（ゆきたか）氏

NPO 法人 よこはま成年後見 つばさ理事長
2002 年に横浜市職員として初めて後見人に就任し、個人後見歴は 11 年になる。その時、自分自身に課したテーマは「成年後見制度は単なる財産管理の制度ではない」。今でもこのテーマを追求。　特定非営利活動法人 よこはま成年後見つばさ」は、判断能力の低下した人々の権利擁護を目的に、成年後見制度の利用支援及び法人後見を行う団体。メンバーは横浜市社会福祉職 OB 等で、福祉事務所などのソーシャルワーカーとして豊富な経験があり、すでに社会福祉士として後見人、保佐人などとして活動している者もいる。

「成年後見制」本当に使いたい形って？

☆福祉のプロが見つめる「成年後見制」。そのひとそのひとの生活に寄り添うことの必要性を提言。
☆事例などを含めて法人後見を紹介。（真理さんプロジェクトなど）
☆同タイトルで「朝日新聞」に載りました。